

ふたつのオリンピック

TWO OLYMPICS Robert Whiting

東京 1964/2020 ロバート・ホワイティング

玉木正之 訳

ふたつの オリンピック

東京 1964/2020

ロバート・ホワイティング

玉木正之 訳

TWO OLYMPICS

Robert Whiting



9784044002183



1920098024001

ISBN978-4-04-400218-3
C0098 ¥2400E

定価：本体 2,400円（税別）

KADOKAWA

ロバート・ホワイティング

Robert Whiting

1942年、米国ニュージャージー州生まれ。大学在学中、合衆国空軍に入隊して来日。除隊後は上智大学で政治学を専攻した。出版社勤務などを経て、日米の文化をテーマとした執筆活動を開始。77年に『菊とバット』（サイマル出版会、早川書房）、90年に『和をもって日本となす』（現在、角川文庫）がベストセラーとなる。『東京アンダーワールド』『東京アウトサイダース』（角川文庫）や『サクラと星条旗』『イチロー革命』（早川書房）など多数の著作がある。

玉木正之

Masayuki Tamaki

1952年京都市生まれ。東京大学教養学部中退後、スポーツライター、作家として活躍。現在はスポーツ文化評論家。『スポーツとは何か』（講談社現代新書）、『9回裏2死 清盛 素晴らしき日本野球』『彼らの奇蹟 傑作スポーツアンソロジー』（新潮文庫）のほか、ホワイティング『和をもって日本となす』（角川文庫）などの翻訳も手がけている。

角川書店

角川書店

半世紀のうちに
東京も私も
まったく別のものに
生まれ変わった。

米軍基地、CIA、自民党。
東京五輪、プロレス、ヤクザ、
プロ野球、バブル、大震災。
そしてふたたび――。

『菊とバット』
『和をもって日本となす』
『東京アンダーワールド』
『日本の裏と表を抉る』
ベストセラー作家、
渾身の自伝的現代史！
角川書店

『菊とバット』
『和をもって日本となす』
『東京アンダーワールド』
著者の自伝的
「戦後日本」史！
角川書店

ジャップ・ラヴァー

「お前、〈日本狂い〉になっちまったのか？」

1962年、地球上で最もダイナミックな街の米軍基地に、十九歳の青年は降り立った。冷戦下、立ちあがる巨大都市。私は東京を貪り食った。ロマンスは言うにおよばず、小さな冒険、絶え間ない刺激、新しい世界が山ほどあった。諜報員、英会話教師、ヤクザの友人、サラリーマン、売れっ子ジャーナリスト。ときどきの立場で、「ガイジン」＝〈アウトサイダー〉として50年を生きたこの街と私の人生は、ひとまわりしていま元へ戻ってきたようだ――。

これから東京は、日本は、いったい
どんな未来に突き進んでいくのだろうか？

ふたつのオリンピック 東京1964/2020
978-4-04-400218-3